

氏名	富田文子	部署	社会福祉子ども学科	職名	助教
研究分野	障害者福祉 職業リハビリテーション 就労支援サービス 社会福祉行政				
学位	修士（健康福祉科学）				
学歴	2009年3月 埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉学科 卒業 2012年3月 埼玉県立大学大学院保健医療福祉科学研究科博士前期課程 修了 2018年4月～ 埼玉県立大学大学院保健医療福祉科学研究科博士後期課程 在籍				
経歴	2009年4月～2016年3月 大田区役所（福祉職） 2016年4月～2019年3月 立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科助教 2019年4月～現在に至る 埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科助教				
所属学会（役職）	日本社会福祉学会 日本職業リハビリテーション学会 日本リハビリテーション連携科学学会 日本発達障害学会 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	新しいIPWを学ぶー利用者地域とともに展開する保健医療福祉連携ー	共著	あり	中央法規、288ページ	埼玉県立大学編 (富田文子「第7章第4節学習方法とポイント」pp.138-139)	2022年4月
2	発達障害白書2023年版	共著	あり	明石書店、203ページ	日本発達障害連盟編 (富田文子「第9章IV知的障害者の賃金はなぜ低いのか」pp.182-187)	2022年9月
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	企業就労する知的障害者の低賃金に関する一考察	共同		日本職業リハビリテーション学会 宮城	○富田文子 朝日雅也	2022年8月
2	長野県上小圏域における障がい者雇用に関する事業所アンケート調査の報告	共同		日本職業リハビリテーション学会 宮城	○片山優美子 河埜康二郎 門下祐子 富田文子 中尾文香	2022年8月
3	企業における合理的配慮等の実態調査ー長野県上小圏域の障がい者雇用に関する事業所アンケート調査の自由記述の分析からー	共同		韓国社会福祉学会 韓国	○片山優美子 中尾文香 門下祐子 富田文子 佐々木絢子 小澤温	2022年10月
4	普通高校在籍の発達課題のある生徒に対する障害福祉分野との連携の困難性に関する考察	共同		日本リハビリテーション連携科学学会 埼玉	○富田文子 朝日雅也 市村彰英	2023年3月
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	社会福祉士国家試験過去問題解説集2023 第32回-第34回完全解説+第30回-第31回問題&解答	共著		中央法規出版	(編集) 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 (分担: 就労支援サービス 186-187,340-341,492-493)	2022年5月
2	2022年度社会福祉士・精神保健福祉士全国統一模試	共著		一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟	(編集) 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 (分担: 就労支援サービス 2問)	2022年10月
3	第33回(令和4年度)手話通訳技能認定試験模範解答集	共著		一般社団法人手話通訳士協会	木下武徳,富田文子,寄林智,木村淳子,渡部芳博,小嶋栄子,光信仁美,小椋英子,鈴木唯美 (分担: 障害者福祉の基礎知識第11-20問)	2023年2月

4	「コクリ対話」から生まれるディーセント・ワーク - 障がい者雇用の質を高めるためのポイント -	共著	令和4年度独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業「対話によるD&Iを目指す障がい者雇用研修・ネットワーク構築事業」	特定非営利活動法人ディーセントワーク・ラボ (分担: pp.51-52)	2023年3月
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省科学研究費基金 (研究活動スタート支援)		障害者の一般就労における雇用形態及び賃金体系の構造把握のためのケーススタディ	研究代表者	2019.10-2023.3
2	文部科学省科学研究費基金 (基盤C)		企業就労する障害者の雇用形態や賃金体系を基盤した職務評価のモデル指標の開発	研究代表者	2021.4-2024.3
3	文部科学省科学研究費基金 (基盤C)		生きづらさからの回復を支える-ナルコレプシー患者のための看護支援モデルの開発-	研究分担者 (研究代表者: 金さやか)	2021.4-2025.3
4	厚生労働科学研究費補助金		企業等で雇用されている間における就労継続支援等の適切な実施プロセスについての研究	研究分担者 (研究代表者: 若林功)	2022.4-2024.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	就労支援論	○	15	労働関係法令や動向、障害者や生活困窮者等の制度と具体的な支援方法を教授した。また、特例子会社及び就労移行支援に従事するゲストスピーカーを招聘し、現場で就労支援の実際を教授した。そして、併せて、支援者の役割を学ぶことで、知識のさらなる理解に努めた。	
2	就労支援サービス (立教大学)	○	15	労働雇用法や障害者や生活困窮者等の制度と具体的な支援方法を教授した。また雇用及び就労支援・福祉の各分野の講義後、複数のゲストスピーカーを招聘し、現場での事例をもとに、就労支援の多様なニーズに対応する支援者の役割を示した。	
3	公共経営論		3	地方公務員の福祉行政の現状や、地方自治体の福祉職に関する課題、公務員試験の概要について講義を行い、福祉専門職として求められる役割等についての理解の促進に務めた。(科目責任者: 伊藤善典)	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	社会福祉演習		15	1年次学科必修の導入科目として、ビブリオバトルやパワーポイントの作成方法、論文の書き方等の基礎的能力について教授した。また、新聞検索によって自らの課題関心を探るようファシリテートし、他者と意見を共有する・議論することで、多角的視点が醸成されるよう指導した。	
2	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ (2022年度実習事後指導)		15	2年生12名の学生を担当し、実習Ⅰの事後指導として実習経験をもとにグループワークによる授業展開を行い、実習報告会に向けてサポートした。報告会各テーマは、「非言語コミュニケーションの有効活用のために支援者に求められることは何か」「なぜ利用者にとってコミュニティが必要なのか」「集団の中でその人らしさを尊重しながら支援するとは何か?」である。	
3	ソーシャルワーク演習Ⅰ		15	1年生の社会福祉の基礎科目である、コミュニケーション基礎となるグループワークに関する演習科目の担当者として関わった。ロールプレイや自己理解・他者理解対して、適宜助言・指導を行った。	
4	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ (2022年度実習事前指導)		15	2年生に対して、実習に必要な①サービスや障害・疾病、利用者に関する知識の獲得、②実習生としての記録の書き方等に関する授業準備や資料作成を行った。また、グループ別学習では、実習課題の作成にはグループワークを活用して、自らの経験に沿った考察ができるよう、多様な考えを知る機会を設けることで事前の準備とした。	

5	社会福祉専門演習Ⅰ	○	15	5名の学生を担当した。障害者に関する知的障害者の地域生活支援（就労支援や自己決定等）に関するテーマにした専門書の輪読・視聴覚資料の活用を中心に展開し、議論を行った。
6	社会福祉専門演習Ⅱ	○	15	6名の学生についてを担当した。障害者の余暇支援や就労支援、性的マイノリティ、きょうだい児支援などの学生ごとの社会問題に関する論文を輪読し、議論を行った。また、障害者雇用企業及びグループホームの訪問・見学を実施した。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	IPW実習		2022年8月から10月	地域担当（科目責任者会メンバー）として、3施設を5チームを担当し、教員の統括と実習サポートに従事し、実習報告会の運営を行った。専門職インタビューを伴うオンライン実習だったため、報告会では学生相互の活発な質疑応答と施設ファシリテータからの振り返りを重視し、学生の学びが促進・完結されるよう重層的な支援を行った。
2	ソーシャルワーク実習Ⅰ		2023年2月から3月	オンラインによる学内実習（5日間）及び学外実習（15-23日）を組み合わせ合わせたハイブリッド実習を実施において、8名の学生を担当した。実習における課題解決の促進に向けた巡回面談、学生が抱える葛藤に対する支持的・教育的スーパービジョンを実践した。また、施設の实習指導者等との協議・事前準備において、施設の現状や課題・多職種連携において、学生の理解が促進されるように調整を依頼した。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2022年4月～11月	主指導 名	副指導 4名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	国家試験における学習相談及び講義	2022年4月から 2023年1月	国家試験受験者に対して、学習のアドバイスをを行った。併せて、「就労支援サービス」についての講義を行った。
2	国際交流委員会企画イベントの企画運営	2023年1月	「セカイ×ミライ」をテーマにJICAとの教育連携に基づく国際交流イベントを企画し、発展途上国に関する映画鑑賞後、青年海外協力隊経験のある卒業生2名とのパネルディスカッションを行った。日本での生活は発展途上国によって支えられている実態を学び、実際の支援がイメージできるよう努めた。

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	2022年度東京ジョブコーチ養成講座	東京しごと財団	障害者に対する就労支援の歴史—これまでの歴史とこれからの展望（合理的配慮・差別禁止を含む）—	2022年6月
2	2022年度埼玉県立大学卒業生支援講座	埼玉県立大学	障害者就労支援研修（朝日雅也・富田文子）	2022年6月
3	社会福祉士実習指導者講習会	埼玉県立大学	実習マネジメント論及び実習スーパービジョン論（演習）講師	2022年6月-7月
4	大田区第43回就労促進懇談会	大田区障がい者総合サポートセンター	企業における障がい者雇用・支援機関に求める対応	2022年11月
5	さいたま協同病院協同県連SW部会	さいたま協同病院	生活保護行政及びケースワーカーの業務と役割についてのインタビュー	2022年12月
6	第84回さいたま障害者就業サポート研究会定例会	さいたま障害者就業サポート研究会	「障害者雇用促進法改正についてそれぞれの立場から」に関するパネルディスカッションのコーディネーター	2023年2月

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	さいたま障害者就業サポート研究会	事務局員	2016.4-現在
2	大田区役所 障がい者総合サポートセンター	就労移行支援事業所連絡会 会員	2016.5-現在
3	障害年金法研究会	障害年金裁判事例検討部会 拡大運営委員	2018.8-現在
4	ケアシステムわら細工	運営委員会 委員	2020.4-現在

5	厚生労働省（社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課）	「障害者虐待事案の未然防止のための調査一式」に係る技術評価委員会 委員	2022.4-2023.3	
6	厚生労働省（社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課）	「共同受注窓口を通じた全国的受発注支援体制構築一式」に係る技術評価委員会 委員	2022.4-2023.3	
7	埼玉県（教育局 県立学校部 特別支援教育課）	令和4年度特別支援教育巡回支援員	2022.4-2023.3	
8	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟	2022年度社会福祉士・精神保健福祉士国家試験合格支援委員会 委員	2022.4-2023.3	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	大田区役所	共同研究契約締結（障害者の就労支援に関する調査・研究）	2017.4-現在
2	国際協力事業	JICA東京	学生に対する国際交流の教育連携	2022.4-現在
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	全学的委員会及びセンター業務等	国際交流委員会	2022.4-現在	
2	学科等における委員会等	社会福祉学専攻スタッフルームの運営	2019.4-現在	
3	学科等における委員会等	学科活動基金担当	2021.4-現在	
4	大学広報活動	後援会担当	2022.4-現在	
5	学科等における委員会等	1年次学年担当（社会福祉学専攻）	2022.4-現在	
6	学科等における委員会等	SW実習演習運営方法検討部会 ワーキングメンバー	2022.7-現在	
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			